

ドローン専用

OCM-3035/OCM-3055HV OCM-3075HV/OCM-3095HV



この度はドローン用ESCをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

このESCはドローン用にチューニングされており、ドローン用コントローラーからの出力は600Hzまで対応します。

●対応モーター

O.S. OMMシリーズモーターを推奨します。

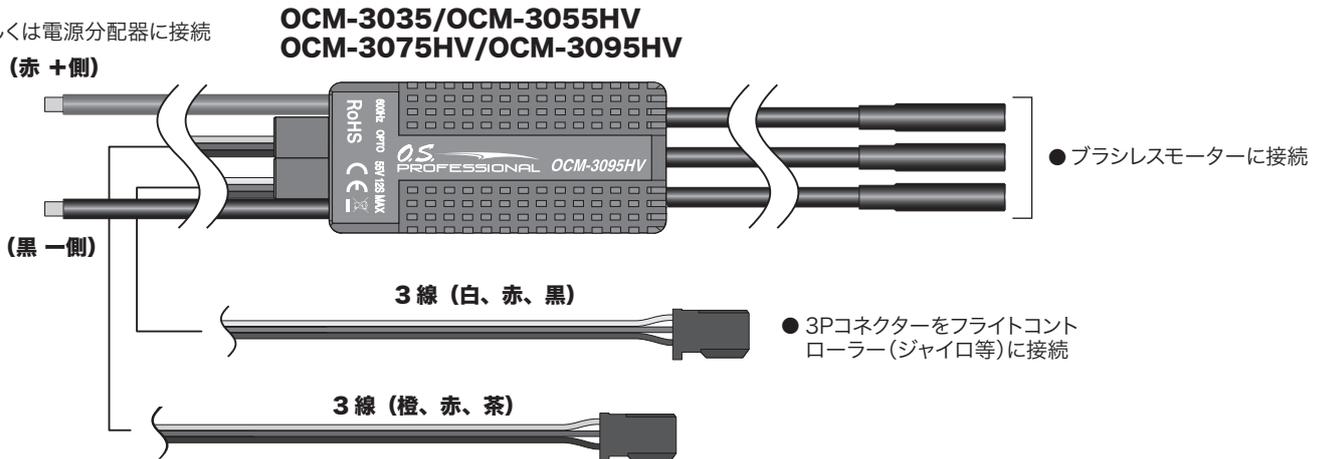
●本機をご使用前に

- ※ リポバッテリーについては取扱い方を誤ると非常に危険です。使用されるバッテリーの取扱いについては、バッテリーに付属の取扱説明書の指示に従ってご使用ください。
- ※ 使用可能バッテリー:
OCM-3035の場合はLi-po2~8セル(7.4~34.8V)
OCM-3055HV~3095HVの場合はLi-po3~12セル(11.1~52.2V)
- ※ OCM-3035/3055HV/3075HV/3095HVはBECを搭載していません。受信機やフライトコントローラーには、バッテリー等の電源を接続してください。

接続方法

下図のように接続してください。

- バッテリー、もしくは電源分配器に接続



取扱説明書

重要:本機をご使用前に必ず本書をお読みください。

■搭載時の注意

⚠警告

- ❗ 本機は必ず仕様に記載された動作条件の範囲内で使用する。
- ❗ バッテリーの極性は絶対に間違えない。
※ 逆接により発火やESC内部が瞬時に破損または焼損します。
- ❗ ESC、バッテリー、モーター、受信機、およびコネクタ等のいかなる箇所も絶対にショートさせない。
※ ショートにより発火やESC内部が瞬時に破損または焼損します。
※ 入出力コードのハンダ接続部分が導電部分に接触しないように搭載してください。
- ❗ 受信機および受信機のアンテナは、ESC、モーターコード、電源コード、動力用バッテリー等の大電流が流れる部分から離して搭載する。
※ ノイズにより受信機が誤動作すると、操縦不能となり大変危険です。

❗ 接続コネクタは奥まで確実に挿入する。

※ 振動で抜けると、操縦不能となり大変危険です。

❗ 本機には、オイル、グリースおよび水等がかからないように搭載する。

❗ 機体搭載時、本機は冷却のための十分な空気の流れがある位置に搭載する。

❗ 本機本体をアルミホイル等で包まない。

※ 包むと冷却効果が損なわれ本来の性能が得られません。

❗ モーターはしっかり取り付ける。また、全てのケーブル類を固定する。

⚠注意

❗ 分解しない。本製品のケースを開けない。

※ ケースを開けると内部破損の原因となります。また、修理不能となります。

■操作時の注意

⚠警告

- ❗ 動作中は、全ての回転する部分と体の一部が接触しないように注意する。
※ 不意に回転すると大ケガの原因となります。
※ 受信機によっては電源投入時に一瞬モーターが回転する場合がありますため注意してください。
- ❗ 雨天時は、飛行しない。
※ 水滴がESC内部に入ると、誤動作により操縦不能となり、大変危険です。また、故障の原因となります。水滴が内部に入り誤動作する場合は修理点検に出してください。
- ❗ 電源のON/OFFは必ず下記の順で操作する。
● ON時: スロットルスティックを停止位置とし、送信機→受信機側の順に電源をONにする。

● OFF時: スロットルスティックを停止位置とし、受信機側→送信機の順に電源をOFFにする。

※ 逆に操作するとプロペラが不意に回転し大変危険です。

❗ 使用しないときは、必ずバッテリーを外しておく。

※ 誤ってスイッチを入れると、プロペラが不意に回転したり、火災の原因となります。

❗ 飛行前には必ずESCおよび全ての舵の動作チェックを行なう。

※ 正しく設定されていない場合や異なるモデルが選ばれている場合、操縦不能となり大変危険です。

⚠注意

❗ 飛行後直ぐには、モーターやESCに触れない。

※ やけどの原因となります。

ESCの搭載

ESCをマジックテープまたは両面フォームテープを使用して振動や衝撃を受けないようにモデルに搭載してください。
外部からの空気の流れがESCに当たり、十分に冷却出来る事が理想です。機体の構造上冷却に不安がある場合は、ご自身で温度確認を行ってください。

■使用上の注意

- ※ 電源はリポバッテリーのパワーバックをご使用ください。
- ※ 受信機からの信号が無くなればモーター駆動を止め、モータを停止させます。受信機からの信号が入力され、スロットル位置が停止位置に有れば再起動します。
- ※ バッテリーを間違ったESCの電極に接続しないでください。間違えるとESCは瞬時に致命的な破損に至ります。
- ※ スロットルがハイの状態ではESCに電源を接続した場合10秒後にピ・ピ・ピ・ピ・・・と音が鳴ります。その場合はスロットルを停止位置にする、或いはESCから電池を外してください。

通常の設定

- 本機には特別な設定項目はありません。フライトコントローラー等の説明書に従ってご使用ください。
- 電源が接続されスロットルが最スローの信号を認識するとスタート開始音が鳴ります。鳴らない場合ATV/AFRの値を調整してください。
- バッテリーセル数を表すピー音(3Sリポの場合、3回鳴ります)に続き、2回ピー音が鳴り動作可能状態となります。
- ESC単独で動作テストを行う場合、Futaba送信機の場合はスロットルチャンネルを"Reverse"に設定してください。

△警告

- ❗ バッテリーパックは必ず飛行直前に接続し、着陸直後に接続を切ってください。
 - ❗ バッテリーパックが接続されたら細心の注意を払ってモデルを取り扱ってください。
 - ❗ 回転しているプロペラは非常に危険です。
 - ❗ 常時プロペラから離れて安全な事を確認してください。
 - ❗ 強力なモーターを備えた模型飛行機は大変危険です。
 - ❗ 強力なモーターシステムは非常に危険です。
 - ❗ 大電流はワイヤやバッテリーを熱し、火災や火傷の原因となります。ワイヤの接続は注意深く行ってください。
- ※ 必ず許可された飛行場で飛行してください。決して他の人々の近く又は上空を飛行しない。メインバッテリーに接続する等、全ての行動はあなた自身の責任です。いつも注意深く分別ある行動をして、楽しく使用してください。

[OCM-3035 仕様]

入力電圧範囲	7.4V~34.8V
最大入力電流	35A (180秒)(20°C)*
定格入力電流	15A (20°C)*
BEC 搭載	無し
進角範囲	自動
外形寸法	26mm(W) x 65mm(L) x 13.5mm(H)
重量	50g ±5g
入力リード線	14 AWG, (耐熱200°C)
モーターリード線	15 AWG, (耐熱200°C)
モーターコネクタ	φ3.5/14 凹コネクタ

[OCM-3055HV 仕様]

入力電圧範囲	11.1V~52.2V
最大入力電流	55A (180秒)(20°C)*
定格入力電流	30A (20°C)*
BEC 搭載	無し
進角範囲	自動
外形寸法	35 mm(W) x 85 mm(L) x 15.5mm(H)
重量	115g±10g
入力リード線	13 AWG, (耐熱200°C)
モーターリード線	14 AWG, (耐熱200°C)
モーターコネクタ	φ3.5/14 凹コネクタ

[OCM-3075HV 仕様]

入力電圧範囲	11.1V~52.2V
最大入力電流	75A (180秒)(20°C)*
定格入力電流	40A (20°C)*
BEC 搭載	無し
進角範囲	自動
外形寸法	37mm(W) x 102mm(L) x 15.5mm(H)
重量	140g±10g
入力リード線	12 AWG, (耐熱200°C)
モーターリード線	13 AWG, (耐熱200°C)
モーターコネクタ	φ4.0/17 凹コネクタ

[OCM-3095HV 仕様]

入力電圧範囲	11.1V~52.2V
最大入力電流	95A (180秒)(20°C)*
定格入力電流	50A (20°C)*
BEC 搭載	無し
進角範囲	自動
外形寸法	37mm(W) x 102mm(L) x 15.5mm(H)
重量	140g±10g
入力リード線	12 AWG, (耐熱200°C)
モーターリード線	13 AWG, (耐熱200°C)
モーターコネクタ	φ4.0/17 凹コネクタ

* ESCの動作中、最大電流および定格電流を維持するためには、ヒートシンク全体に、冷却用の空気(プロペラ後流等)、風速(5 m/s以上)が必要です。
環境温度20°Cの場合。
ESCの最大性能限界は、気温や湿度などの環境要因によって大きく変化します。

■製品について

本製品の仕様・諸元、デザインおよび取扱説明書等の内容は改良などにより予告なく変更する事があります。

当製品へのご質問、お問い合わせは当社営業窓口までご相談してください。
電話(06)6702-0230(直通) FAX(06)6704-2722
professional@os-engines.co.jp

表示の意味

●いつも安全に製品をお使いいただくために、以下の表示のある注意事項は特にご注意ください。

△危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される場合。

△警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。または、軽傷、物的損害が発生する可能性が高い場合。

△注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が重傷を負う可能性は少ないが、傷害を負う危険が想定される場合。ならびに物的損害のみの発生が想定される場合。

図記号： ○；禁止事項 ❗；必ず実行する事項